

想像をカタチにする

KOMURA

電動昇降座いす
独立宣言[®]
プリモ

品番：DSPR
取扱説明書






保証書つき

保管用





- 本製品の機能を十分ご理解いただき、安全にご使用いただくために、この取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
- この説明書は大切に保管し、必要なときお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください。




 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 下記の人がひとりで使用するときは、必ず周囲の人が注意・介護する (1)お年寄 (2)体の不自由な人 (3)お子様 事故や体調不良を起こすおそれがあります。 ● 周囲に人がいたり、物がある場所では十分に注意する 昇降時、いすがまわりの人に当たってけがをさせたり、すわっている人がまわりの物に当たってけがをするおそれがあります。 特に下降時は、座板の下に何も無いことをご確認ください。 ● 使用時は、必ず脚を取り付ける 転倒し、けがをするおそれがあります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 不安定な場所で使用しない 転倒し、けがをするおそれがあります。 ● 踏み台にしたり、肘掛けに座るなど、目的以外の使いかたをしない 足をすべらせたり、いすが転倒し、けがをするおそれがあります。 ● 許容荷重（100kg）以上の体重の人は使用しない いすが破損・故障し、けがをするおそれがあります。 ● ひざに座らせたり等、ふたり以上で座らない 転倒したり、いすから落ちるなど、けがをするおそれがあります。 ● 座板下降時、座板の下に足などを入れない 座板と脚や床の間にはさまれて、けがをするおそれがあります。 ● 座板の端に座らない 座板からすべり落ちたり転倒して、けがをするおそれがあります。 ● いすに飛び乗ったり、故意に勢いをつけて座ったりしない いすが破損・転倒し、けがをするおそれがあります。 ● お子様を本体の上で遊ばせたり、背もたれや肘掛けの上に乗ったり座ったりさせない いすから落ちたり、いすが転倒し、けがをするおそれがあります。 ● いすを持ち上げて運ぶ際は、2人以上で行い、必要以上の衝撃を与えない いすが破損し、故障の原因となります。
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 分解・修理・改造は絶対にしない 発火したり、異常動作してけがをするおそれがあります。
 指に注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 昇降時や移動時、隙間（特に背もたれと本体の隙間）に指などを入れない 指などはさみ、けがをするおそれがあります。 ● 肘掛け、座板の折り曲げ時、可動部分に指などを入れない 指などはさみ、けがをするおそれがあります。





お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。

■説明内容を無視し、誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を、下の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。

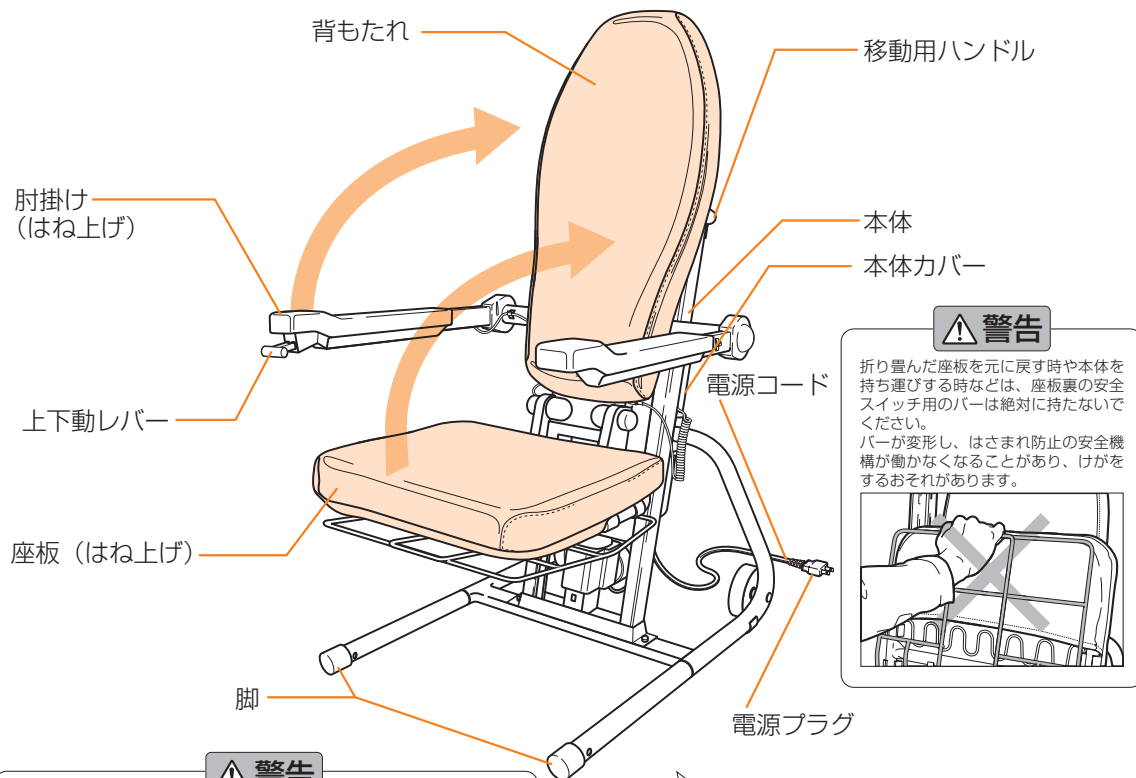
 警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
 注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

 気をつけていただきたい 「注意喚起」内容を説明しています。	 してはいけない「禁止」 内容を説明しています。	 必ず実行していただく「強制」 内容を説明しています。
--	--	--

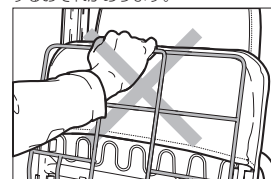
 注意	
 禁 止	<ul style="list-style-type: none"> ●屋外や高温・多湿な場所で使用・保管しない 感電および故障の原因になります。 ●火気を近づけない 発火のおそれがあります。 ●人が座ったままいすを移動させない 転倒・衝突などにより、けがをするおそれがあります。 ●交流100V以外では使用しない 火災や感電の原因になります。 ●2分以上の連続運転はしない 故障の原因になります。 連続運転が2分以上におよんだ時は、10分以上休止させてください。 ●電源プラグにゴミ・水分を付着させない 感電やショート、発火のおそれがあります。 ●電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない 火災や感電の原因になります。 ●コードを無理に引っ張らない 破損し、故障の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグは、確実に最後まで差し込む ショートや発火のおそれがあります。 ●濡れた手で電源プラグを持たない 感電のおそれがあります。 ●濡れた手で上下動レバーにさわらない ショートや異常動作のおそれがあります。
 電源プラグ を抜く	<ul style="list-style-type: none"> ●動かない場合や、異常を感じたときは使用を中止し、すぐに電源プラグをコンセントから抜く 感電や発火のおそれがあります。 ただちに点検修理を依頼してください。 ●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電ややけどのおそれがあります。 ●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。 ●電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って引き抜く 感電やショート、発火のおそれがあります。

各部のなまえ



警告

折り畳んだ座板を元に戻す時や本体を持ち運びする時などは、座板裏の安全スイッチ用のバーは絶対に持たないでください。
バーが変形し、はさまれ防止の安全機構が動かなくなることがあり、けがをするおそれがあります。



警告

●肘掛け、座板の折り曲げ時、可動部分に指などを入れない

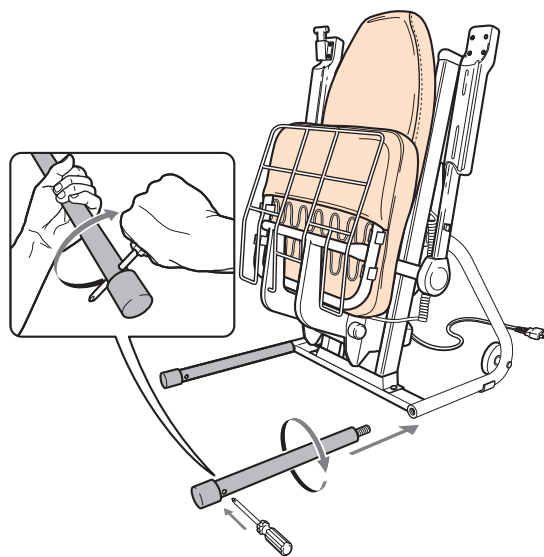
指などはさみ、けがをするおそれがあります。また、折り畳んだ肘掛け、座板の落下には注意してください。

仕様

サイズ	560(幅)×825(奥行)×855(高さ)mm
重量	22kg
最大許容荷重	100kg
最大ストローク	385mm
入力電圧	AC100V 50/60Hz (コード長3m)
昇降速度	18mm/sec (電動上下昇降)
定格消費電力	MAX 90W
ヒューズ	125V 5A
定格時間	2分

品質表示

構造部材	機構部	金属(鋼・アルミニウム合金)
	背もたれ部	合板、肘掛け部 ABS樹脂
	座部	金属(鋼)、脚部 金属(鋼)
	カバー	ABS樹脂
表面加工	金属部	メラミン樹脂塗装 アクリル樹脂塗装
張り材	ポリ塩化ビニル	
クッション材	ウレタンフォーム	



脚を本体下部にさし込み(2ヶ所)、右方向に止まるまで回し、最後に付属の工具を脚の先端側の穴にさし込みきつく締め込んでください。

脚は、座板と肘掛けがはね上がっている状態で、ねじ込んでください。

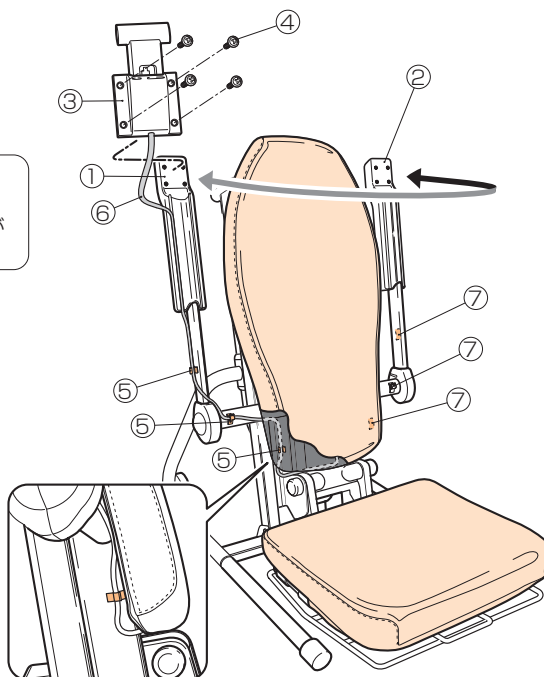
上下動レバーの入れ替え

- 上下動レバーは、通常は右手側の肘掛けにあります。お好みにより左手側に付け替えることができます。

⚠ 注意

上下動レバーの入れ替え作業は、必ず右左の肘掛けをはね上げた状態で行なってください。コードが無理に引っ張られ、動作不良をおこすおそれがあります。

1. ①②右手左手側の肘掛けをはね上げます。
2. ③上下動レバーを固定している④ネジ(4本)を⊕ドライバー(No.2)で取り外します。
3. ①右手側肘掛けのみぞと、⑥クリップ右(3ヶ所)から⑥コードを抜きます。
4. ③上下動レバーを②左手側肘掛けに④ネジ(4本)でしっかり固定します。
5. ⑥コードを②左手側肘掛け外側のみぞと、⑦クリップ左(3ヶ所)に差し込みます。



こんなときは…

座板が上下しないとき

- 電源プラグが抜けていませんか？
- 下降しない 座板裏の安全スイッチが働いていませんか？
→座板の下に足や物などを入れないでください。
- 座板がはね上がった状態になっていませんか？
→はね上がった状態では上下しないことがあります。

お手入れのしかた

- 水または中性洗剤を含ませた柔らかい布で、軽く拭いてください。
- ベンジン・シンナー・ワックス・化学ぞうきんなどで拭いたり、たわしでこすったりしないでください。
- お茶やコーヒーなどをこぼしたときは、乾かないうちによく拭きとってください。

点検後、なお異常があったら

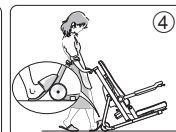
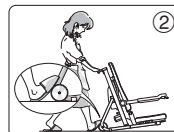
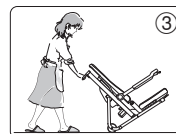
ただちに使用を中止し、事故防止のため、必ず販売店に点検・修理を依頼してください。

座板の動く速さが遅いとき

- 周囲温度が低いときに使用した場合、座板の動く速さが遅くなる場合がありますが故障ではありません。座板に座らない状態で、1往復ほど昇降させれば、通常のスPEEDに戻ります。

移動するとき

- ①電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②移動用ハンドルを両手で持ち、左右の車輪のどちらか一方に足を掛けて、いすを手前にかたむけてください。
- ③車輪が床に接地したことを確認し、いすを前に移動させてください。
- ④左右の車輪のどちらか一方に足を掛けながら、ゆっくりいすをおろしてください。



⚠ 注意

●いすをかたむける、または床におろす時は、左右の車輪のどちらか一方に“しっかり”足を掛ける。足やものがはさまれてけがをしたり破損するおそれがあります。

使いかた

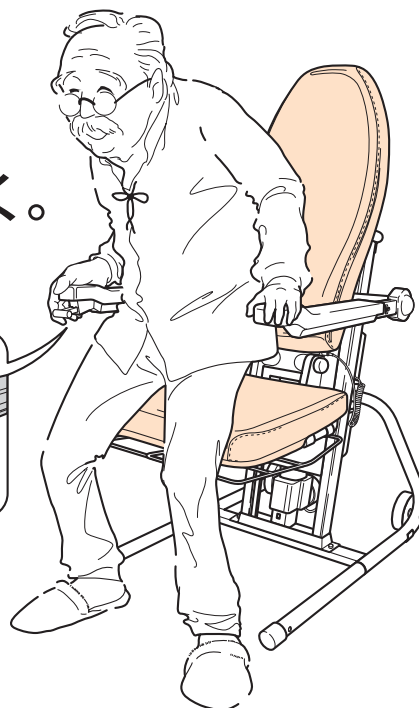
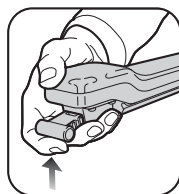
電源コードを接続する。

- 電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。

座る

1 上下動レバーを上へ引く。

- 肘掛けの裏にある上下動レバーを上へ押し続け、座板を座りやすい位置まで上げておきます。

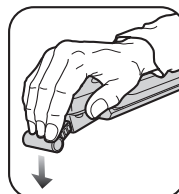


2 腰をおろす。

- 肘掛けに手をそえて静かに腰をおろします。
- 足腰に負担をかけることなく座板に腰をおろすことができます。

⚠ 警告

- 座板の端に座らない
座板からすべり落ちたり転倒して、けがをするおそれがあります。

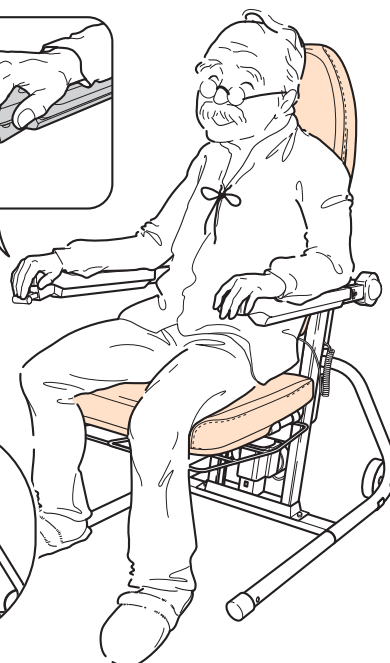
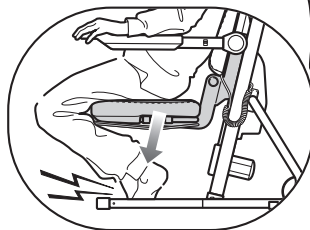


3 上下動レバーを下へ押す。

- 肘掛けの裏にある上下動レバーを下へ押し続け、(指を離せば止まります) 座板をお好みの高さまで、おろしてください。
- 座板は床面まで下がると自動的に止まります。

⚠ 注意

- 座板下降時、座板の下に足などを入れない
座板と脚や床の間にはさまれて、けがをするおそれがあります。

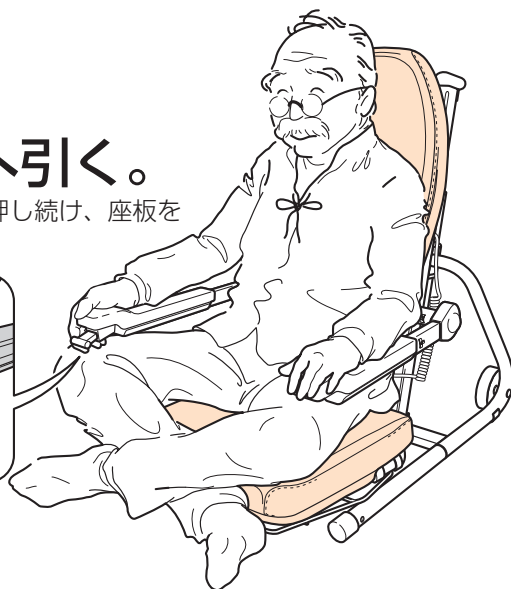
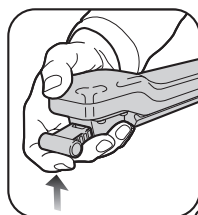


立つ

1

上下動レバーを上へ引く。

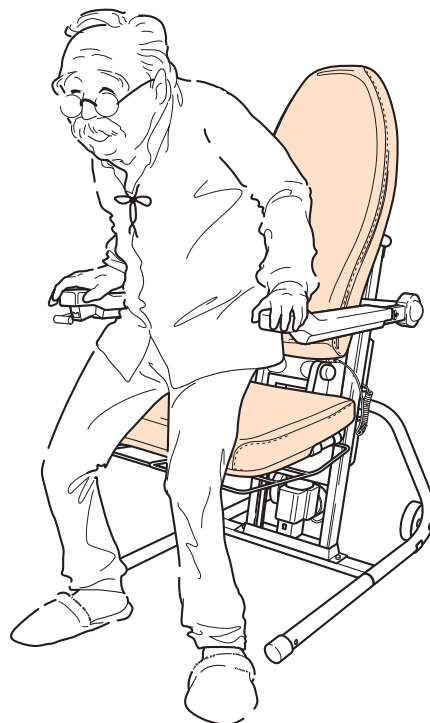
- 肘掛けの裏にある上下動レバーを上へ押し続け、座板を立ちやすい位置まで上げます。



2

腰を上げる。

- 肘掛けに手をそえて静かに腰を上げます。



⚠ 警告

- 下記の人がひとりで使用するときには、必ず周囲の人が注意・介護する
(1)お年寄 (2)体の不自由な人 (3)お子様
事故や体調不良を起こすおそれがあります。